

謝辞

本研究の実施にあたりましては、指導教官として吉野公喜先生にご指導いただきました。また、斎藤佐和先生、四日市章先生には副指導教官としてご指導いただきました。厚く御礼申し上げます。

本研究を進めるにあたり、東京学芸大学の澤隆史先生には、様々なご教示をいただくなど多くの面で非常にお世話になりました。深く感謝の意を表します。

筑波大学附属聾学校、中山哲志先生をはじめ小学部の多くの先生にお世話になりました。また、研究にご協力下さいました各小学校の校長先生、先生方には、様々にご配慮いただきました。心から感謝の意を表します。

研究の対象となった聴覚障害をもつ生徒の皆さん、聴覚障害をもたない生徒の皆さん、御協力ありがとうございました。時間のかかる課題を快くこなしてくれました。将来の幸福を願っております。

最後とはなりましたが、心身障害学研究科の諸先輩や友人、心の支えとなってくれた家族に感謝して筆を置きたいと思います。

1999年11月

相澤 宏充